



その30

## <余暇を充実させる重要性>

充実した余暇の過ごし方は、学校卒業後に大きなポイントとなると思います。就労、就職は仕事をする場です。自ら自分の事を考えコントロールし、生活や行動をする事が苦手な子にとって、新たな成長を望むのは難しい事が現状です!

生活が  
職場や事業所の往復のみに  
なってしまう事が殆ど

「出来ていた事、やっていた事が  
やる必要がなくなってくる」

「出来ることをやらなくなり、  
出来なくなる。」

<なぜか>

\*学校は、行事があり、時間で様々な事を行って行く。  
☆移動教室などなど目まぐるしく行動が続きます。  
(脳トレと運動の繰り返し)

\*社会は、仕事をする場所で、学生時代のような成長(生活力等)  
をしていく場ではない事。

☆行動と活動量が、恐ろしく減ります。  
(単純行動、行動範囲狭)

\* 一般的に、誰にでも起こりうる流れですよ。

「仕事の内容などに「刺激」を求める」 か、「仕事は仕事と割り切って、余暇で「刺激」を求める」 かに、なるのではないのでしょうか。勿論、双方に「刺激」を求められるのが理想ではありますが。「余暇の充実」を身に付けるのは、実習先、就職・就労先の選択肢を増やす為の、重要ポイントになると思います!

SNS、モバイル系(DVD, YouTube, ゲーム)は、余暇の中のあくまでも一つの選択肢としていきたいところです。

正直、子どもたちはこれらがなくても、時間は過ごせます!! (約束の上での余暇としての利用はOKかなあ…)

スイッチの活動内容は、学校卒業後の生活の水準をいかに下げないかを(も)考慮しています!



その15

今月の活動ポイント!

## <ミッションボード>

「ミッションボード」というものを活動にプラスしました。「仕事・作業・外活動・知育・家事手伝い」の5項目です。

1日3~4項目をミッションボード(指示(文字表記)ボード)を見て、自分で考えて行って行きます。内容の一つ一つは難しいものではありません。細かな課題は、勿論一人一人違いますが、学校などでの 今までの経験と学びが、どこまで確実に身につけているかの確認と、確実性と正確性の向上が目的です。

<共通ポイント>→ 手際と質の高さ、状況での様々な考える力、文字を見て指示を理解し報連相の使い方、「自主性」「自立性」の向上!!!

<内容とポイント> ● 仕事・ 明日の準備、タオルたたみ・干し、新聞たたみ など  
ポイント→ 正確さ、必要とされる物を考える、重ねる向き など

● 作業・ ヒモ通し、クリップ付け、洗濯ばさみつけ など  
ポイント→ 指先の向上、集中力、構造理解、丁寧さ など

● 外活動・ 一人ウォーキング  
ポイント→ 自分で行き先を考える、制限時間内での戻り(時計を持って) など

● 知育・ 本を見て文字の模写、音読、安全ピン付け など  
ポイント→ 滑舌の向上、文字や様々な表現などを理解の向上 など

● 家事手伝い・ おやつ準備(お皿などの準備、配膳…) 床拭き など  
ポイント→ 丁寧さ、確実さ、声かけ、状況判断力 など

また、このメイン活動に入る前の行動(スイッチに来て、まずやること(活動をするための準備))も、一人で当然に行動が出来るようにするための工夫も加えました。

1. 着替える(平日)
2. ノートを出す
3. 出かける準備
4. バックを机に置く
5. (報告)「…さん、出かける準備が出来ました!」
6. (相談)「…さん、なにをすればいいですか?」



各ロッカーに左記のメモを付けてあります。それを見ながら、自分で行動をしていきます。これが出来て、本活動に入れます。

今は、メモを付けていますが、徐々に外し、自ら出来るようにしていきます☆